

平成 25 年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

研究費区分	①新規領域創成型				
研究代表者 所属	都市教養学部人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野	カガナ 研究代表者氏名	ヤマダ マチサ 山田昌久	職	教授
研究分担者所 属	都市環境学部 地理環境コース	研究分担者氏名	鈴木毅彦	職	教授
	都市教養学部 理工学系 生命科学コース		菅原 敬		准教授
	都市教養学部 理工学系 生命科学コース		黒川 信		准教授
	都市教養学部 理工学系 生命科学コース		江口 克之		准教授
	都市教養学部 理工学系 生命科学コース		清水 晃		助教
	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース 社会人類学分野		石田慎一郎		准教授
	都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野		谷口 央		准教授
	都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野		源川真希		准教授
	システムデザイン学部 インダストリアルアートコース		楠見 清		准教授
	大学教育センター		小林加奈		特任助教
	大学教育センター		村田昌則		特任助教

研究課題名	学術成果の都民への発信拠点・組織の形成
研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）	
<p>●学術情報の発信 本年は企画展を2回開催した。昨年度の生命科学・考古学に引き続き、日本史（八王子城関連）と地理（東京の地質）分野の企画展で、多摩地区の都民や近隣神奈川県から多数の見学者が訪れた。プレスリリースや大学のホームページへの掲載によって、遠くは東北地方からの来館者も有った。シンポジウムでは、特に日本史分野では100名を越える方が集まり、立ち見の方も出た。地理分野では広く関東地方の地形・地質・テフラの話題であったが、近年の防災意識の高揚もありやはり100名弱の参加があった。本学の学術標本・研究活動の都民への発信という目的が、この2年間で定着してきたことが実感された。</p> <p>●企画展の開催 昨年度の生命科学・考古学の企画展開催に続き、本年は日本史（八王子城関連・谷口企画）地理（東京の地形地質・鈴木企画）を大学説明会・大学祭にあわせて開催した。同時に公開シンポジウムの開催した。日本史では100名を越える来場者があり、地理分野でも防災意識の高揚から100名近い来場者があった。本学からの学術情報研究成果の発信が地域住民の方に定着し始めたといえる。本年はまた、プレスリリースや大学ホームページへのアップ、そして博物館・大学へのポスター掲示依頼もあり、近隣県や東北からの来館者も有った。</p> <p>●地域博物館との連携 本年は、本学の91年館も加盟している三多摩地区の公立博物館協議会の研修会を本学で開催し、対応は本傾斜的研究費のグループで行った。本学の展示説明や学内の標本の見学を企画し、多数館からの学芸員が参集した。そして地域博物館における今後の本学学術資産の活用について意見交換を行った。複数の博物館から今後本学の研究成果を展示に講演に利用したいという申し出をいただいた。本年度は本学の学術標本の展示貸し出し依頼として、本グループの山田が、群馬県岩宿文化博物館・島根県古代出雲歴史博物館からの依頼を受け、小林が資料搬送や窓口対応を行った。</p> <p>●学内学術標本の点検およびデータベース作製 本年度は、大学院生などを雇用して展開した。地理学分野で町田名誉教授寄贈のテフラ標本のデータベース化（分担者鈴木）、生命科学分野で牧野標本館の藻類標本のデータベース化（分担者菅原）を進めた。</p>	

平成25年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）

- 山田昌久
 - ・鎌倉の木器研究と年輪年代研究（招待講演），平成25年度鎌倉市遺跡研究会、(2013. 8)
- 鈴木毅彦
 - ・福島県会津坂下町周辺の第四紀地下地質と会津盆地西縁断層帯の活動、日本地球惑星科学2013年大会、(2013. 5)
 - ・立川断層帯ボーリング調査で検出された前期更新世テフラとその対比に基づく周辺域の地下構造、日本地球惑星科学2013年大会、(2013. 5)
 - ・テフラに基づく武蔵野台地西部における第四紀地下地質層序：昭島・八王子・立川・武蔵村山・武蔵村山榎・東大和コアによる検討、日本第四紀学会2013年大会、(2013. 8)
 - ・会津盆地西部地下の第四紀後期テフラ層序と会津盆地西縁断層帯の活動、日本地質学会第120年学術大会(2013仙台大会)、(2013. 9)
- 菅原 敬
 - ・台湾蘭嶼産コウトウボチョウジ（アカネ科）の二型花柱性と花形態。沖縄生物学会第50回大会、(2013. 5)
 - ・ウマノスズクサの開花フェノロジーと送粉との関連。日本植物学会第77回大会 (2013. 9)
 - ・小笠原諸島固有植物の性表現とその進化。TMUバイオコンファレンス2013 (2013. 11)
- 黒川 信
 - ・黒川信, 山田沙佳 (2013) 消化管自律運動の比較生理学. 日本動物学会関東支部第65回大会 (東京)
 - ・高木賢司, 三田純子, 山田由里愛, 田中浩輔, 黒川信 (2013) 甲殻類クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) 直腸の神経支配. 日本動物学会関東支部第65回大会 (東京)
 - ・M. Kurokawa, S. Yamada and K. Tanaka (2013) Comparative physiology of the autonomous movements of the gastrointestinal tract in mollusks. The 35th Annual Meeting of the Japanese Society for Comparative Physiology and Biochemistry. (姫路)
 - ・山田沙佳, 黒川 信 (2013) アメフラン消化管の神経原性及び筋原性自律運動に対する神経伝達物質の効果 日本動物学会第84回大会 (岡山)
- 清水 晃
 - ・清水晃・西本裕・遠藤知二・牧野俊一・岡部貴美子・佐山勝彦・松本和馬：「竹筒トラップ法を用いたクモバチ(ベッコウバチ)科の托卵寄生種の探索, 日本昆虫学会第73回大会, (2013. 9)
- 石田慎一郎
 - ・'Gichiaro: Egalitarian conflict management among the Igembe of Kenya', "IUAES 17th World Congress (G38: Contesting universality and particularity in legal and cultural pluralism)" The University of Manchester, 7-Aug-13.
 - ・'Egalitarian conflict management among the Igembe of Kenya', "African Potentials 2013: International Symposium on Conflict Resolution and Coexistence", Kyoto University, 5-Oct-13
- 谷口 央
 - ・「浜名郡と中世末期から近世初期の地震」(前近代歴史地震史料研究会、2013. 11)
- 村田昌則
 - ・東北日本弧南部会津地域における第四紀前半のカルデラ噴火史, 日本第四紀学会, (2013. 8)

論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）

- 山田昌久【論文】(年代の古い順に表記)
 - ・山田昌久「総論・集成加工の木器研究」『月刊・考古学ジャーナル6月号』(ニューサイエンス社, 2013年6月, 3-4頁)
 - ・山田昌久「集成加工器具・構造部材としての出土木器研究」『月刊・考古学ジャーナル6月号』(ニューサイエンス社, 2013年6月, 26-29頁)
 - ・山田昌久「鎌倉の木器研究と年輪年代学研究」『第23回鎌倉市遺跡調査研究発表会発表要旨集』鎌倉考古学研究所, (2013年8月, 29-32頁)
 - ・山田昌久「縄文時代の食と生活を考える」『食いしんぼうの縄文人』山梨県立考古博物館 (2013年9月, 61-64頁)
 - ・山田昌久「遺跡発掘時に発見される災害情報について」『メトロポリタン史学』8号, (2013年12月, 135-136頁)
 - ・山田昌久「縄文人の植物利用」『講座・日本考古学縄文時代・下』青木書店 (2014年2月, 125-157頁)
- 鈴木毅彦
 - ・鈴木毅彦「東京とその周辺における火山災害の歴史と将来」『地学雑誌』、2013年12月。
 - ・Chemical characterization of volcanic glass shards by energy dispersive x-ray spectrometry with EDAX GENESIS APEX2 and JEOL JSM-6930, Suzuki, T., Kasahara, A., Nishizawa, F., and Saito, H, Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 2014年3月予定
- 菅原 敬
 - ・Oguri, E., T. Sugawara, C. -I. Peng, T. Y. A. Yang and N. Murakami (2013) Geographical origin and sexual-system evolution of the androdioecious plant *Gynochthodes boninensis* (Rubiaceae), endemic to the Bonin Islands, Japan. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 68 (3): 699-708.
 - ・Sugawara, T., K. Watanabe and M. Tabata (2013) Distyly in *Psychotria serpens* (Rubiaceae) in the Ryukyu Islands, Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 64: 127-136.
 - ・Watanabe, K., A. Shimizu and T. Sugawara (2013) Dioecy derived from distyly and pollination in *Psychotria rubra* (Rubiaceae) occurring in the Ryukyu Islands, Japan. *Plant Species Biology* (in press).
 - ・Sugawara, T., M. Yumoto, S. Tsuneki, and K. Watanabe (2014) Incompatibility and reproductive output in distylous *Psychotria boninensis* (Rubiaceae), endemic to the Bonin (Ogasawara) Islands, Japan. *The Journal of Japanese Botany* 89:49-53.
- 黒川 信
 - ・K. Tanaka, K. Takagi, S. Ito and M. Kurokawa
Neural control of the rectum in a penaeid shrimp, *Marsupenaeus japonicus*. *Kyorin J. Arts and Sciences*, 32 (in press)
- 江口 克之
 - ・A new data of worker polymorphism in the ant genus *Dorylus*. Eguchi K, Bui TV, Oguri E, Maruyama M, Yamane Sk. *Journal of Asia-Pacific Entomology* 17, 31-36, March 2014.
 - ・Discovery of cryptic species within *Pheidole parva* Mayr, 1865 (Insecta: Hymenoptera: Formicidae) widespread in the Indo-West Pacific. Eguchi K, Widmer M, Oguri E, Fisher BL & Murakami N. *ARI* 35, 16-26, May 2013.
 - ・江口克之「ヴェトナムにおけるアリ類の多様性研究」『昆虫と自然』11月号, 23-26, 2013年10月。

平成25年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

- 清水 晃
 - ・ Shimizu A & Wahis R (2013) Systematic studies on the Pompilidae occurring in Japan: Genus *Platydialepis* Haupt (Hymenoptera: Pompilidae: Pepsinae). *Entomological Science* 16: 316-325.
 - ・ Watanabe, K., Shimizu, A. & Sugawara, T. 2013. Dioecy derived from distyly and pollination in *Psychotria rubra* (Rubiaceae) occurring in the Ryukyu Islands, Japan. *Plant Species Biology*, 28, 11 pp.
- 石田慎一郎
 - ・ 石田慎一郎「ケニア中央高地のミラー：イゲンベ地方における嗜好品産業の動員力」落合雄彦編『アフリカ・ドラッグ考』晃洋書房、2014年3月予定。
 - ・ 'Egalitarian conflict management among the Igembe of Kenya', Ishida, Shin-ichiro, "African potentials 2013: proceedings of International symposium on Conflict Resolution and Coexistence", Center for African Area Studies, Kyoto University, 2013年9月
 - ・ 石田慎一郎「書評 Katherine Luongo, *Witchcraft and Colonial Rule in Kenya, 1900-1955*」『アジア経済』LIV(3) アジア経済研究所、2013年9月
 - ・ 石田慎一郎「アフリカの墓」土生田純之編『事典 墓の考古学』吉川弘文館、2013年5月
- 谷口 央
 - ・ 谷口央『幕藩制成立期の社会政治史研究—検地と検地帳を中心に—』（校倉書房、2014.3予定）
- 源川真希
 - ・ 源川真希「日本近現代史の古典を読む」『歴史評論』757 歴史科学協議会 26-31頁 2013年5月

科学研究費補助金への応募状況、採択状況

- ◆本研究に関連する科学研究費補助金としてすでに採択されているもの
- 山田昌久
 - ・ 基盤研究(A)「年輪年代学に関する総合的研究」(分担, 2012~2015年度)
 - ・ 基盤研究(B)「岩陰遺跡の生物考古学研究長野県天狗岩岩陰遺跡の発掘調査」(分担, 2013~2015年度)
- 鈴木毅彦
 - ・ 基盤研究(B)「火山灰・古地磁気編年による東北日本弧内陸盆地・海岸域における第四紀地形発達の研究」(代表, 2013~2016年度)
- 黒川 信
 - ・ 基盤研究(C)「消化管系の連動運動の中核および末梢神経機構」(代表, 2013~2015年度)
- 江口 克之
 - ・ 基盤研究(C)「東アジアにおける成人T細胞白血病1型の起源、進化的変遷、宿主への適応」(代表, 2011~2013年度)
 - ・ 基盤研究(B) (一般)「社会構造の地理変異から究明するアリ類におけるカスト特殊化の進化と意義」(分担, 2012~2014年度 代表: 伊藤文紀)
- 清水 晃
 - ・ 基盤研究(C)「クモバチにおける原始社会性の起源: メス間の社会行動の特性とその進化的意義」(代表, 2013~2016年度)
- 石田慎一郎
 - ・ 基盤研究(B)「ケニアの農村と都市における法の公共性に関する社会人類学的研究」(代表, 2011~2013年度)
- 谷口 央
 - ・ 基盤研究(B)「前近代の地震による家屋倒壊率と津波到達点の研究-1707年宝永地震を中心に-」(分担, 2012~2013年度)
 - ・ 基盤研究(B)「中世における合戦の記憶をめぐる総合的研究-長篠の戦いを中心に-」(分担, 2012~2013年度)
- ◆本研究に関係する科学研究費補助金として 応募中のもの
- 山田昌久
 - ・ 基盤研究(A)「実験考古学による器具効力と資源利用に関する研究」(代表, 2014~2017年度)
- 江口 克之
 - ・ 基盤研究(B) (海外学術調査)「アジアの人工環境におけるアリ相の解明~外来種防疫体制の高度化のための基礎研究~」(代表, 2014~2016年度)
 - ・ 研究成果公開促進費、「首都大学東京所蔵オサムシ科昆虫標本データベース」(代表, 2014~2015年度)
 - ・ 基盤研究(A) (海外学術調査)「起源地との比較による小笠原諸島産野生植物の進化の解明」(分担, 2014~2017年度 代表: 村上哲明)
 - ・ 基盤研究(B) (海外学術調査)「ベンガル・デルタの農林生態系アリ群集: インドと東南アジアのアマルガム解明」(分担, 2014~2016年度 代表: 緒方一夫)
 - ・ 基盤研究(C)「狭食・狩猟性アリ類におけるペプチド系神経毒の構造と機能の多様性の解明」(分担, 2014~2016年度 代表: 稲垣英利)
- 谷口 央
 - ・ 基盤研究(B)「中近世移行期検地帳の史料学的研究とデータベースの構築」(代表)

国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況

- 山田昌久
 - ・ 地球環境学研究所「高度分解能気象学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」(分担, 平成25年プレリサーチ研究500万円, 26~30年度40000万円, 予定分担額150~200万円)
 - ・ 東京都高度研究・アジア人材育成基金(平成25~29年)「アジア地域の風土と社会に根差した持続可能都市建築の構築技術」(分担, 30万円)
 - ・ 産学公連携センター学術相談(東京都埋蔵文化財センター3件, 34万円)
- 鈴木毅彦
 - ・ 文部科学省重点調査「立川断層帯における重点的な調査観測」
- 菅原 敬
 - ・ 琉球大学熱帯生物圏共同研究へ応募, 採択
 - ・ 首都大学東京傾斜的研究費(部局競争経費)へ応募, 採択
- 黒川 信
 - ・ 東京都 平成25年度受託研究「漁場の評価と生産性向上対策事業に関わる調査委託」 99万円 (継続)
- 江口 克之
 - ・ 東京都高度研究・アジア人材育成基金(平成25~29年)(代表: 沼田真也)「アジア大都市圏の自然環境における生物多様性保全と持続的利用に関する研究」(分担)
- 谷口 央
 - ・ 東京大学史料編纂所特定共同研究「関連史料の収集による長篠合戦の立体的復元」共同研究員

平成 25 年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

その他社会貢献
[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- 山田昌久
 - ・岩手県一戸町御所野遺跡国史跡整備委員会委員・千葉県佐倉市井野長割遺跡国史跡整備委員会委員
 - ・東京都調布市下布田遺跡国史跡整備委員会委員・石川県能登町真脇遺跡国史跡整備委員会委員・岐阜県文化財保護センター専門委員・佐賀県佐賀市東名遺跡検討委員会委員 発掘調査学術指導（さいたま市教育委員会・静岡県埋蔵文化財センター・愛知県埋蔵文化財センター・三重県埋蔵文化財センター・岐阜県埋蔵文化財センター・山形県埋蔵文化財センター）
 - ・石川県金沢市縄文文化館展示検討委員会委員・竹中大工道具館新設展示協力員、展示図録執筆員・岩手県一戸町御所野縄文博物館展示リニューアル委員会委員
 - ・産学連携センター学術相談（東京都埋蔵文化財センター3件）、行政体依頼オープンユニバーシティ講師（羽村市）・日本考古学協会査読委員
- 鈴木毅彦
 - ・国土交通省国土地理院 治水地形判定委員会委員、法務省 司法試験予備試験考査委員、東北中央自動車道白竜湖軟弱地盤対策検討WG アドバイザー、ミュージアムパーク茨城県自然博物館助言者会議 研究助言者、一般社団法人日本地球惑星科学連合 代議員、日本第四紀学会 評議員、日本第四紀学会 会計監査、日本地質学会 編集委員会委員、日本地理学会 災害対応委員会委員、Island Arc誌 Member of Editorial Advisory Board
 - International Focus Group on Tephrochronology and Volcanology (INTAV) of INQUA (International Union for Quaternary Research): Vice President
- 菅原 敬
 - ・八王子市文化財保護審議会委員、文部科学省教科用図書検定審議委員会委員（生活科）
- 黒川 信
 - ・社会人対象宿泊型「野外講座」を八丈島、伊豆大島、神津島で計3回実施した。（東京都八丈支庁または大島支庁、大島町、神津島村または八丈町との連携）
 - ・八丈島民対象の公開講演会を1回企画実施した。（東京都八丈支庁、八丈町との連携）
 - ・島しょ農林水産総合センターとの東京都伊豆諸島沿岸海洋環境に関する共同研究（受託研究）を継続した
- 江口 克之
 - ・日本分類学会連合役員（庶務担当）、国際学術誌 Myrmecological News (Impact Factor: 2.644) 編集委員会顧問、鹿児島大学総合研究博物館学外協力研究者、八王子市・市史編さん室への標本写真提供（「新八王子市史自然編」へ掲載）
- 清水 晃
 - ・日本昆虫学会・自然史学会連合担当委員
- 谷口 央
 - ・三重県史近世部会専門調査員、愛知県史織豊部会調査執筆委員

研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類・番号	出願年月日	取得年月日

研究分担額

研究代表者・分担者名	所属	金額（円）
山田昌久	国際文化コース 歴史・考古学分野	1,220,000
鈴木毅彦	都市環境学部 地理環境コース	950,000
菅原 敬	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	250,000
黒川 信	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	100,000
江口 克之	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	100,000
清水 晃	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	100,000
石田慎一郎	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース 社会人類学分野	100,000
谷口 央	国際文化コース 歴史・考古学分野	700,000
源川真希	国際文化コース 歴史・考古学分野	100,000
楠見 清	システムデザイン学部 インダストリアルアートコース	100,000
小林加奈	大学教育センター	100,000
村田昌則	大学教育センター	100,000